

## 若年性認知症コースの 「大切な」思いとして

ケアについての大切な思いとして認知症の方のこれまでの経験や趣味、性格といった「その人らしさ」やご本人の思いを理解し、それを活かしたケアを行っていくことを大切にします。

### ■できることを大切に

認知症になると日常生活でもできない事が増えてしまいます。できることは時間をかけて、できる限りご自分で行っていただけるケアをいたします。

### ■ふれあい、社会との繋がりを大切に

認知症がある方でも、人や社会と関わりをもつ楽しさは変わりません。施設周辺の散歩や観光など、できるかぎり外出機会を設けていきます。

### ■家族の思いを大切に

日常生活をおくる上で、何か困ったことがあれば職員一同で一緒に考えていきます。利用者の方はもちろんご家族も気軽にご相談頂けるよう信頼関係作りを目指していきます。

\* 本事業は、渋谷区の助成金をもとに渋谷区で初めて若年性認知症デイサービスとして行う事業です。



### ◆ お問い合わせ先

東京都渋谷区西原2-19-1  
TEL 03-5453-0515  
FAX 03-5453-0522

E-mail: [dayservice@m-keyaki.jp](mailto:dayservice@m-keyaki.jp)

社会福祉法人 武蔵野療園

渋谷区けやきの苑・西原

担当 (岡部 前田)

## 渋谷区けやきの苑・西原



## デイサービスのご案内

(若年性認知症コース)

若年認知症になっても、

その人らしさは変わらない。

私達は、その方が歩いて

こられた道を大切にして、

生きがい作りのお手伝いを

します。

## 若年性認知症とは？

認知症は、加齢とともに発症するリスクが高くなる疾患です。しかし、年齢が若くても発症することがあり、18歳から65歳未満で発症した認知症性疾患(アルツハイマー病、脳血管型、前頭側頭型、レビー小体型など)を総称して「若年性認知症」といいます。現在、全国で、約4万人の方が発症していると言われています。

「仕事内容を忘れてしまった」「妻が料理を作れなくなった」「人が変わったようなふるまいをする」など症状は様々です。

働き盛りの世代にも起こる認知症は、本人だけでなく、家族の生活に与える影響が高齢者の発症の場合に比べて大きく、社会的にも大きな問題となっています。

## 利用できる人は？

渋谷区民の方で介護保険の第2号被保険者(40歳以上65歳未満)かつ初老期における認知症(脳血管認知症及びアルツハイマー型認知症等)の方。

## どんなことをするの？

決められたプログラムはありません。ご利用者の希望や得意なこと、好きなことを考慮して、ご家族にも協力して頂きながら決めていきます。

趣味活動や園芸、外出、家事など様々な活動を用意しています。その中で、自分の得意な事など生活背景を考慮しながら、ご本人とスタッフ全員で当日の予定を決めていきます。

### ある1日のプログラム

9:20 苑に到着  
9:30 健康チェック(血圧測定)  
10:00 朝の会(今日の予定を決める)  
ラジオ体操  
11:00 作業・余暇・スポーツなど  
11:40 食事準備(配膳作業)  
12:00 昼食  
13:00 外出  
15:30 お茶会・今日の振り返り  
16:30 送迎車 出発

## 特徴は？

- 少人数制(6人定員)  
少人数の為、馴染みの関係作りがしやすい環境です。
- 利用者本人の意思で活動選択・決定  
ご本人と当日の活動内容を相談し、自己決定して頂きます。
- 回想  
1日の終わりに活動内容を振り返りながら、自分と向き合う時間を作ります。
- 施設を活用  
施設内の設備を利用します。また、地域の公共施設等も活用していきます。

## 利用日、利用時間

- 毎週 日曜日  
9:20から16:30  
(年末年始はお休み)

